新しいマシンと先進的なソリューションで、より効率的な生産を実現

ヘッセン州ディレンブルクに拠点を置くH. K. Heun社とその姉妹会社であるPrimetall社は、古典的なジョブショップです。HEUNグループは両社で構成されています。この会社は、ロット数1の顧客部品ならびにコンポーネント一式を製造しています。Primetall社は4ミリまでの薄板を加工し、H. K. Heun社は25ミリまでの板厚の軟鋼を使用します。経営責任者はマルク・ヴィルゲンス氏で、彼の息子であるヤニックとラファエル両氏も本グループで従事しています。マルク・ヴィルゲンス氏は、引継ぎはまだ考えていないとはいえ、会社の将来像については息子たちに任せています。ディッツィンゲンのTRUMPFを偶然訪れた3人が自発的にTruLaser Tube 7000 fiberの購入を決めた後、ヤニックとラファエルの両氏は他のマシンについても方向性を見直しています。TRUMPFのエネルギー効率と生産性に優れた最新のレーザ加工機と曲げプレス、ならびにさらなるオートメーションをサポートするソフトウェアソリューションによって、HEUNグループは今後も成功への道を歩み続けるに違いありません。

H. K. Heun GmbH

www.hkheun.de

2000年、マルク・ヴィルゲンス氏がヘッセン州ディレンブルグに拠点を置く金属加工会社H.K. Heun社の経営を創業者のフリッツ・ホイン氏から引き継ぎました。2013年、ヴィルゲンス氏は隣接するPriMetall社を買収し、両社を合併しました。HEUNグループは、設計から最終組立までの全てを一手に提供し、飲食業、衛生、医療・実験技術、航空及び包装などの業界向けに個別部品やシリーズ部品を製造しています。60年以上の経験、約15,000平方メートルの工場面積、最新マシン、独自のロジスティクスがある一方で、ヒエラルキーはなく、ノウハウや品質および短納期が保証されています。同社はまた、EN ISO 9001:2015、DIN EN ISO 3834-2、EN 1090-1、DIN ISO 24394に基づく航空宇宙機器の溶接に準拠した認証を受けています。

業界
板金加工

従業員数
110

事業拠点
オーバーシェルド (ドイツ)

TRUMPF製品

- TruLaser Tube 7000 fiber
- TruLaser 3030 fiber / 3040 fiber / 3060 fiber

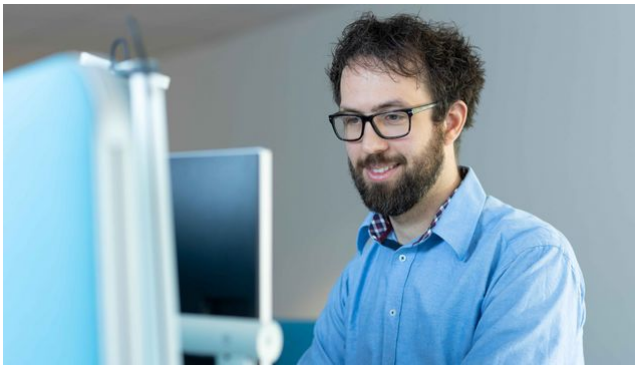
アプリケーション

- レーザパイプ切断
- レーザ切断

課題

マルク、ヤニックそしてラファエル・ヴィルゲンス氏とTRUMPFの出会いは偶然でした。競合他社

のマシンを見学に行く途中、ディッツィンゲンに寄り道した3人は、ポートフォリオをさらに拡大するために、TruLaser Tube 7000 fiberの購入を自発的に決めました。オペレータートレーニング中に、TRUMPFのスマートファクトリーセンターを訪問したラファエルは、感銘を受けました。「ITの専門家である私にとって当然ながら非常に興味深いものでした。社内では、私はデジタル化を推進する立場にあります。私にとって生産管理やプログラミングシステムなどTRUMPFのソリューションは合点がいくものでした」。ヤニックとラファエルは、将来も良好な生産体制が維持できるように、HEUNグループのオートメーションをさらに進めるソフトウェアを導入予定です - 新しいマシンを導入し、生産をより生産的に、エネルギー効率をより高めたいと考えています。そうして選ばれたのがTRUMPFのトータルソリューションでした。



"オートメーションとデジタル化は、当社にとって重要なテーマです。私にとってTRUMPFのソリューションは合点がいくものでした。"

ラファエル・ヴィルゲンス
HEUNグループのデジタル化スペシャリスト

解決策

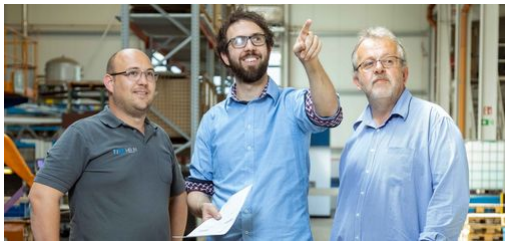
顧客一件、基本契約一件だけで、TruLaser Tube 7000 fiberの稼働率を30～40 %にすることはできません。ラファエル・ヴィルゲンス氏は次のように説明しています：「この装置があることをお客様に知っていただいてから、他にも多くの問い合わせをいただいています。」企業家たちは、ポートフォリオの拡大に加えて、より生産性の高い、エネルギー効率の高い製造を目指しています。というのも、HEUNでは、レーザ切断機や曲げプレスの老朽化により、電力需要の月額は約18,000ユーロにものぼると計算されていたからです。ラファエルとヤニック ヴィルゲンスの両氏は、新しいマシンへの投資を決断しました。2021年5月以降、TruLaser Cell 7040は、Primetall社の生産に使用されています。H. K. Heun社では2台のTruLaser 3030が導入されています。1台のマシンでは手動でローディングし、2台目のTruLaser 3030はLiftMasterを使用して自動でローディング/アンローディングを行います。

実行

HEUN社とTRUMPFは、当初から長いパートナーシップを目指して、ビジネス関係を築いてきました。HEUN社のラファエル氏は次のように語っています:「TRUMPFは、当社が必要とするソリューションと環境条件を提供してくれました。ディッツィンゲンのソリューションで、当社は成功する方法を見出すことができました」







展望

オートメーションとデジタル化の推進は、将来的にもHEUNグループの重要なテーマです。2021年夏からは、すでにPrimetall社で導入されていた生産制御TruTops Fabが、姉妹会社のH. K. Heun社でも稼動しています。この兄弟はこれに加えて既存の曲げプレスもTRUMPFの曲げプレスに置き換えたいと考えています。将来的には、プログラミングシステムTruTops Boostが、レーザプログラムおよび曲げプログラムを引き継ぐことになっています。